



白バラ牛乳  
大山乳業農業協同組合

# 酪農だより

Vol.

683

平成30年12月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～



**今の特集**  
2018年 大山乳業農協の1年  
**現場潜入**  
どりりんのおいもシューができるまで  
**各種活動レポート**  
**指導課通信**  
**大山乳業農協からのお知らせ**



# 2018年 大山乳業農協の1年

・白の一滴プロジェクトスタート

・大山乳業農協ホームページリニューアル



・スタッフブログ「Dairy Diary」スタート



・第51回通常総会

・白バラ抹茶発売

・第1回工場見学通路開放DAY開催



・新年互礼会

・らくだの白いこぶチョコ発売



**第33回中国地区  
ブラック&ホワイトショウが鳥取で開催**  
6年ぶりに鳥取県で開催され、たくさんの来場者にも恵まれました。また、岡村宙博さん出品牛が、ジュニアチャンピオンを獲得しました。



**大山開山1300年記念  
「大山みるくマドレーヌ」発売**



**大山乳業農協新CM  
「ブラックor白バラ」  
編スタート**

CMを一新し、「コーヒーはブラックにしますか?白バラにしますか?」という斬新なCMに驚いた方も多かったはず。

6月 5月 4月 3月 2月 1月



今年も残すところわずか。  
大山乳業農協の1年を  
振り返りました!



**牛乳月間「父の日に牛乳を贈ろう」**  
牛乳月間のユニークな合言葉と共に、期間中、鳥取県の平井知事を訪問するなど、積極的に牛乳をPRしました。



**ベビースターラーメン  
onアイス発売**  
おやつカンパニーとコラボした製品が発売。白バラファンだけでなく、ネットでも注目を浴びました。



**みんなの牧場竣工式**  
県内で初となる500頭以上のメガファームの誕生に、沢山のTVや新聞等も取材に駆けつけました。



・牛乳月間特別イベント&  
第2回工場見学通路開放DAY開催

・小前組合長と職員の  
ランチミーティングスタート

・幅田前組合長お別れの会開催

・京都生協  
せいきょう牛乳で  
「星取県」をPR  
産直せいきょう牛乳1000mlの広報欄で星取県をPRしました。

・週刊文春で鳥取県の牛乳が  
日本一老けない牛乳と紹介!  
発刊から見る見るうちに話題となり、沢山の方に鳥取の牛乳の良さを知っていただくきっかけとなりました。



・大山乳業農協新CM  
「ありがとうお母さん」編スタート



・白バラショコラ発売

・京都生協産直ミニ懇談会開催

・第4回 工場見学通路開放DAY開催  
クリスマス前の工場見学開放DAYということで、ケーキの試食を企画!過去最多の来場者でにぎわいました。

Pick Up!!



鳥取大学×大山乳業農協  
「とりりんのおいもシュー」発売



・工場見学パンフレットリニューアル

・京都生協「秋の鳥取フェア」参加

・第3回 工場見学通路開放DAY開催



Pick Up!!

「酪農だより」リニューアル  
9月号より紙面デザイン、構成を一新し、酪農だよりがリニューアルしました。



・白バラ紅茶発売



Pick Up!!

鳥取大学農学部×大山乳業農協  
「白バラいちごあいす」発売

12月

11月



10月

9月



8月

7月



白バラクリスマスケーキ

今年は、地域限定のアイスクリームを含む9つのケーキが白バラファンを魅了します。



Pick Up!!

コープしが「鳥取フェア」開催

大山乳業農協から計6名が参加し、生協牛乳などを積極的にPRしました。店舗に訪れた生協組合員様からも嬉しいお言葉を頂き、産地直結の良さを改めて実感しました。



京都生協もーもキャンプ開催

京都生協の組合員様を鳥取へ招待し、美歎牧場でキャンプと交流を楽しみました。



・来年度新入職員内定式を開催

・産直フォーラムin京都開催



## 鳥取大学 × 大山乳業農協 とりりんのおいもシューが できるまで

大学生とコラボ！  
「おいも」のスイーツ



11月某日、大山乳業農協の菓子工場では香ばしい香りと共に、一風変わった色のパフが次々とオーブンから焼きあがりました。

その正体は、今回紹介する鳥取大学と大山乳業農協のコラボ企画第2弾「とりりんのおいもシュー」です。

鳥取大学との共同開発で記憶に新しいのは、今年7月、大山乳業農協の6次産業化事業の一環として鳥取県産いちご「紅ほっぺ」を使用した、鳥取大学農学部とのコラボ製品「白バラいちごあいす」です。

第1弾では、鳥取大学の学生が製品の企画段階から開発に関わり、学生ならではのアイデアとデザインを取り入れたユニークなアイスクリームは、発売時にはメディアにも取り上げられるなど反響があったそうです。

そして、白バラいちごあいすに続くコラボ企画第2弾として生まれたのが、鳥取大学産安納芋を100%使用したシュークリーム「とりりんのおいもシュー」です。

今回は、とりりんのおいもシューにグッと迫ってみたいと思います！

## 共同開発は こだわりがぎゅっしり



今回の共同開発、実は学生だけでなく大山乳業農協の菓子開発部門も学生と共同で製品を開発するのは初の試みでした。

昨年の7月から企画に取り掛かり、製品化まで約1年半の期間をかけて共同開発を行ったそうです。

発売に至るまでには、ローソンの担当者からマーケティングの講義をしていただくなど、製品を開発した後、「販売」という部分まで深く掘り下げた開発を行いました。

素材は鳥取大学の産品として使用可能な「安納芋」、形態は「シュークリーム」に決定しました。実際に使用する安納芋は、学生たちが大学キャンパス内の農場で苗の植え付けから収穫まで行いました。

学生は、製品開発の担当者と一緒にシュークリームの中に詰めるクリームの配合の決定など、製品の味を決める重要な作業も行いました。

中でもこだわったのは「安納芋を再現すること。そのために、クリームの色・香り・甘さにもこだわりました。安納芋をイメージした甘さのクリームとバランスを取るため、パフに塩を入れることで、味を引き締めた学生こだわりの一品が出来上がりました。

また、パッケージについても、学生のデザインを採用し、デザイン会社からアドバイスをいただきながら鳥取大学のイメージキャラクターの「とりりん」と「カウィー」の楽しい芋掘りのシーンを表現しただけです。



## いざ現場へ潜入！



菓子工場へやってきました！

まずは、原料を混ぜ合わせる「生地仕込室」へ。生地をこねているボウルの中を覗くと、なんと紫色！これがシュークリームのパフになります。

機械を使って決められた分量ずつ絞り出しトンネル型のオーブンへ。オーブンの中を約18分かけて進みながら、焼かれていきます。

シュークリームの生地は、粘りがあるのが特徴です。オーブンで加熱することにより、生地に含まれていた水分が水蒸気へと変わります。この水蒸気が押し広げられて生地が膨らみ、水蒸気が生地の外へ抜け、焼き固められることにより、膨らんで中に空洞が出来るそうです。

焼きあがった姿を見ると、少し紫色

がかかったパフがさつまいもを連想させます。

鉄板からコンベアに乗り換え、いよいよクリームの充填です。パフに針を刺し、中にクリームを注ぎます。出来上がったシュークリームは、すぐにフィルムで包み、箱の中へ入れると完成です！

先日、鳥取大学の近くのローソンで店員と同じ制服に身を包み、店頭立つ学生の姿がありました。

自分たちが開発した製品をお客様が手に取る瞬間に立ち会った事は、学生にとって貴重な経験になったに違いありません。

学生たちのアイデアが盛り込まれたユニークな製品「とりりんのおいもシュー」是非、作り上げた学生の事を思いながらお召し上がりください！



1 2



3 4



1. 製品開発センターでの試作の様子
2. 鳥取大学キャンパス内で安納芋の収穫
3. 紫色の生地がオープンに入っていきます
4. 焼きあがったとりりんのおいもシューのパフ
5. 店頭販売に参加した学生の皆さん
6. 学生のアイデアが詰まった製品の完成です！



5 6



## 2018年 産直フォーラムin京都

10月27日(土)、京都市にある龍谷大学深草キャンパスにて、COPP牛乳産直交流協会主催の「2018年産直フォーラム」が開催されました。

例年鳥取県内で開催されてきましたが、今年はさらに多くの方に参加して頂ければとの思いから、初めて消費地側の京都で開催となりました。

今年のテーマは「鳥取の産直牛乳・牛肉の消費が広がる交流をもっとしよう」。当組合からも小前組合長、平野専務をはじめ、武本筆頭理事、山本理事、岩永理事、川本理事、田中監事、真山健太郎さんと京都営業所職員も参加し、総勢160人が参加したフォーラムとなりました。

鮎江会長(京都生協常務理事)による開会挨拶で産直フォーラムがスタートすると、第1部の基調講演では、奈良女子大学講師の青木美沙氏による「消費者と生産者をつなぐ、協同組合間協同だからこそできる産直」と題し、パワーポイントを使い生協産直の成り立ちから日本の酪農・農業の現状、協同組合間産直の意義について、講演をして頂きました。

続いて、生産地側より酪農生産者の真山健太郎さん、(株)美歎牧場東部哺育センター職員の中山亜希さんよ

り、現在の取り組みや苦労話、牛への愛情たっぷりなお世話など、ユーモアを交えて報告して頂きました。

第2部の試食交流会では、大山乳業農協より殺菌温度の違う牛乳の飲み比べ、みるく鍋、シフォンケーキ、鳥取県畜産農協よりサイコロステーキ、すね肉の煮込みなどが振る舞われ、産地の味を楽しみながらグループに分かれて意見交換や交流を行いました。

その後、立食での夕食交流会では各団体からの近況報告もあり、生産者と消費者の顔が見え、産地直結の絆を深められ、有意義な時間となりました。

最後に木下副会長(鳥取県畜産農協組合長)より、「これからも鳥取の牛乳と牛肉をたくさんご利用して頂き、産直の絆をさらに深めていきましょう」と閉会挨拶で締めくくられました。



生産者の真山健太郎さん



交流会のようす

## 11月 京都生協 産直ミニ懇談会に参加

11月に京都府内の4会場にて、COPP牛乳産直交流協会主催の京都生協産直ミニ懇談会が開催されました。

懇談会には大山乳業農協と鳥取県畜産農協が参加し、子育て世代からシニア世代と幅広い年齢層の生協組合員様と交流を行いました。

懇談会では、生産地の取組みを紹介、牛乳の飲み比べやクリスマスケーキなどの試食を行ったほか、グループに分かれて意見交換などを行いました。

参加いただいた生協組合員様より「産地のお話しが聞けて良かった」や「とても勉強になった」「試食がどれも美味しかった」と嬉しいお声をたくさんいただくことができました。



11月15日(木)北ブロックでの懇談会のようす

## 11/23 工場見学通路開放デー 過去最多300名来場

11月23日(金・祝)、「見学通路開放デー」を開催しました。

今年は「み・る・く」にちなんで「3・6・9」月にイベントを開催したところ大変好評で、回を重ねるごとに多くのお客様にご来場いただきました。

沢山の皆様に工場見学にご来場いただいた感謝と、この機会に大山乳業農協のクリスマスケーキをお試し頂きたい!ということで、この日はクリスマスケーキの試食会も行いました。「ケーキも牛乳も美味しかった。」

「今年も白バラのクリスマスケーキを注文します!」という有難いお声も多く聞かれました。

開催時間は2時間程でしたが、県内在住の方を中心に県外からも多くお越し頂き、同イベントとして最多の計300名のご来場となりました。

今後もイベントの開催などを通して、多くのお客様が工場見学にご来場いただけるよう工夫したいと思えます。



当日の見学通路のようす

## 第49回鳥取県JA大会が執り行われました

11月21日(水)湯梨浜町ハワイアロハホール

この度の大会は、「組合員とともに農業・地域の未来を拓く」をテーマに3つの基本目標が大会決議されました。

- 1 持続可能な鳥取県農業の実現
- 2 地域社会への貢献
- 3 協同組合としての役割発揮

先回の48回大会で決議されたJA自己改革を更に深める為、着実な実践とその進捗管理を徹底し、夢のある元気な鳥取県農業・地域を目指し、組合員・役職員が一丸となって取り組んで行くことが重要です。

また、食料安全保障の確立に向けた取り組みに関する特別決議が小前組合長より提案され決議されました。

決議案には、食料・農業・農村の「担い手」「支え手」を一人で



大会の様子



特別決議提案される小前組合長

も増やすことで、わが国の「食料安全保障の確立」に貢献することとあり、私たちの組合も更なる安定的な生乳生産と継続的な供給を基に農産物市場国際化を乗り越えていかなければなりません。

今回の大会も多くの組合員・農協・協同組合関係者が参加し、最後に木下理事(鳥取県畜産農協組合長)より大会宣言がなされ幕を閉じました。

## 琴浦につっこに食堂へケーキの協賛を行いました!

12月12日(水)、琴浦町社会福祉センターで開催された「琴浦につっこに食堂」のクリスマス会へケーキを協賛しました。

この食堂は、事情により子どもだけで食事を取らざるを得ない家庭などの支援を目的に、毎月1回、琴浦町社会福祉協議会が開催されている取り組みです。



食事を受け取る子どもたち

クリスマス会では、大山乳業農協が提供したホワイトケーキにフルーツがトッピングされ、子どもたちは嬉しそうに受け取っていました。

大山乳業農協はこれからも、学校給食をはじめとした牛乳・乳製品をお届けすることで、子どもたちの成長を支える支援を続けていきます。



フルーツがトッピングされた大山乳業のカットケーキ

## 月刊 エンドーさん

もうすぐクリスマスです。

皆さん今年はどうなケーキを注文されましたか?

このクリスマスケーキの歴史ですが、日本では明治43年に不二家さんがフルーツケーキにデコレーションを施したケーキを発売されたのが最初と言われており、大正11年に現在の原型となる、スポンジ生地を使用したクリスマスケーキとなったそうです。

一般的にクリスマスケーキが普及したのは昭和(戦後)になってからですが、当時は現在主流の生クリームを使用したケーキではなく、バタークリームが使用されていました。

自分が子どもの頃はまだバタークリームが主流であり、クリスマスケーキだからといって、さほどテンションが上がるものではありませんでした。

それがあある年、生クリームを使用したクリームに変わり、初めてそれを食べた時の感動は今でも忘れません。(多分、自分の歴史と大山乳業農協のクリスマスケーキ製造の歴史はシンクロしているものと思います)

今では、様々なクリスマスケーキが販売されており、デコレーションも年々凝ったものになっている気がします。大山乳業農協でも製品開発センターで試作を重ね、毎年新作のケーキをお客様にお届けしています。

皆さんも自慢のクリームをたっぷり使用した、大山乳業農協のケーキと共に、良いクリスマスをお過ごしください。



## 私のオススメ

大山乳業農協の広島営業所で日々奮闘中の田中です。今年の春、鳥取県から家族共々引っ越しし、現在広島市に住んでおります!

私のおすすすめは、「白バラキャンディチーズ」です。

我が家には幼稚園、保育園に通う息子達がいるのですが、息子達にも好評で、子育てを手伝いながら子どものおやつだけでなく、自分のおつまみとしても美味しく食べられます。

パッケージもかわいらしいですが、1粒ずつが包装されていますので食べやすく、また乳風味たっぷりなので、ちよつぱりしあわせな気分?にもなれます。ぜひ皆様もご賞味下さい!



大人も子どもも皆さんにオススメです!



## 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭 平成30年11月30日現在

牧場名	区分	頭数	内 訳									
			育成牛	種付け対象牛			妊娠牛（月齢）				妊娠牛中のET	
				うち種付中	うち妊鑑待ち	未種付	17以下	18~20	21以上			
鳥取放牧場	乳牛	558	197	204	152	50	52	157	99	41	17	62
	割合(%)	100	35	37	27	9	9	28	63	26	11	39
鳥取放牧場計	乳牛	558	197	204	152	50	52	157	99	41	17	62
	割合(%)	100	35	37	27	9	9	28	63	26	11	39
大山放牧場	乳牛	438	166	118	88	31	30	154	59	63	32	24
	割合(%)	100	38	27	20	7	7	35	38	41	21	16
俵原牧野	乳牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合(%)											
大山放牧場計	乳牛	438	166	118	88	31	30	154	59	63	32	24
	割合(%)	100	38	27	20	7	7	35	38	41	21	16
総計	乳牛	996	363	322	240	81	82	311	158	104	49	86
	割合(%)	100	36	32	24	8	8	31	51	33	16	28

※1 種付けは、13ヶ月以上、体高127cmで実施

※2 妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

### ET実績(乳牛)

※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H29.10	53	26	49%
H29.11	45	24	53%
H29.12	41	22	54%
H30.01	40	22	55%
H30.02	37	18	49%
H30.03	81	45	56%
H30.04	43	21	49%
H30.05	42	23	55%
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%

### AI実績(乳牛)

年月	実施数	受胎数	受胎率
H29.10	113	62	55%
H29.11	139	73	53%
H29.12	128	65	51%
H30.01	106	64	60%
H30.02	103	59	57%
H30.03	77	42	55%
H30.04	98	49	50%
H30.05	103	60	58%
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%

## 平成30年11月分 生乳出荷量別生産者戸数

出荷乳量	出荷戸数(戸)	
	平成30年	平成29年
100t以上	12	10
80t以上 100t未満	4	5
60t以上 80t未満	9	9
40t以上 60t未満	13	12
20t以上 40t未満	28	31
10t以上 20t未満	26	27
10t未満	25	29
計	117	123

## 輸入粗飼料の情勢

品目	今後の改定要因			特記事項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	11月から12月にかけて、一部船社で海上運賃一斉値上げや緊急燃料費割増しが実施された。 米国西海岸ロサンゼルス/ロングビーチ港において、ピアパスが夜間を含めた全日が対象となった。 輸入品価格へ転嫁されることとなる。
ビートパルプ	↑	↑ (円安傾向)	↑	新穀の収穫作業はほぼ終了している。 昨年比1か月余り収穫のスケジュールは遅れている。既に圃場が凍結し収穫を断念せざるを得ず、当初見込みを大きく下回る収量となった地域も出ており、ビートパルプペレットの生産量も大きく下方修正・減産が見込まれる。
ハイキューブ	→	↑ (円安傾向)	↑	
スーダングラス	↑	↑ (円安傾向)	↑	主産地インペリアルバレーでは、各サプライヤーが抱える在庫のみとなっている。茎細の上級品についてはすべて成約済となっており、中～低級品で若干の売り物が残っている。しかしながら、豪州産オーツヘイの生産量減少と価格の高騰を受け、安価なイネ科牧草として中～低級品への需要が急増しており、スーダンの産地相場は強含みに推移している。18年産の作柄については、収穫期の天候に恵まれたことから上級品の発生が中心となっている。
アルファルファヘイ	↑	↑ (円安傾向)	↑	【米国産アルファルファの輸出動向】 日本向けは夏季の酷暑や生乳生産量の減少といったマイナス要因はあるものの、輸出量は大きく変わっていない。貿易摩擦下にある中国向けは、関税の増加により輸出量は減少している。一方、UAEやサウジアラビアなどの中東向けの輸出量は増加傾向にある。
USチモシー	↑	↑ (円安傾向)	↑	18年産1番刈は上級品を中心にほぼ完売となっている。 やや余剰感があった2番刈の中級品以下についても、豪州産オーツの生産量の減少から引き合いは増え始めると予想される。
カナダチモシー	↑	↑ (円安傾向)	↑	南部レスブリッジ地区の18年産1番刈は上級品の発生が80%前後で中級品以下が限定的となっている。一方、2番刈はやや刈り遅れ傾向であったため中級品以下の発生が中心となった。 中部クレモナ地区の18年産は上級品の発生は限られ、収量は例年の半分程度となっている。国内からの上級品への引き合いは非常に強く産地価格は大幅に上昇した。
オーツヘイ	↑	↑ (円安傾向)	↑	産地相場は、 ①豪州国内の自給粗飼料が不足していることからオーツヘイへの引き合いがグレードを問わず強まっていること ②日本、中国および韓国からの需要も堅調な状況が続いていること ③豪州国内全体でのオーツヘイの生産量が例年よりも少なく、今後の需要動向次第では供給力に不安があること から、前月よりもさらに高値で推移している。昨年比で大幅な価格上昇となるため、今後の需要動向には注視が必要と言える。
クレイングラス	↑	↑ (円安傾向)	↑	好調な産地相場を背景に作付面積は回復傾向にあり、19年産は18年産以上の生産量が期待される。18年産の直近の産地相場はさらに強含みで推移している。背景には自給飼料不足の韓国の引き合いや豪州産オーツの生産減があり、極めて堅調な相場を形成している。
ストロー類	↑	↑ (円安傾向)	↑	18年産のライグラスストローの生産量は大きく減じている。 旧穀の繰り越し在庫もなく、韓国の自給飼料不足や中国産稲わらの供給懸念により、産地相場は日々上昇している。 一方、フェスキューストローの作付面積は増えており、ライグラスに比べると供給力は高いと思われる。
ルーサンペレット	→	↑ (円安傾向)	↑	

**カトリック活動報告**  
**【農場内3Sの取り組み】**  
 カトリックがんばる！香取3代目

「カトリックがんばる！香取3代目」は、大山町香取地区の酪農家9戸を中心に結成されたグループです。

結成は平成28年度で、当初は3世代目が経営に参加する手段として複式簿記の勉強を行っていましたが、県内の整理整頓された農場と、異業種の工場の視察を行ったのをきっかけに、農場内の3S(整理・整頓・清掃)に取り組むこととなりました。

初めに鳥根県安来市から講師を招き、勉強会を開催。1S(整理)、2S(整頓)、3S(清掃)のポイントなどの勉強会を開催しました。

そして、勉強会で学んだ内容を実践するべく、カトリックメンバー全員



3S勉強会のようす

で農場内の3Sを行いました。今回の3S活動ではお互いの様子を報告しながらメンバー全員で取り組みました。

**3Sのポイント**



① 1S(整理)

片付ける場所にある物をすべて出し、使う物と使わないものを、保留品に分けます。捨てるより、買いきる方がもったいないという気持ちで分類することがポイントです。

保留品は一定期間おいて、その間に使わなければ捨てます。

② 2S(整頓)

取り出しやすく、戻しやすいように置くことがポイントです。誰でもすぐに分かるように3定(定位、定品、定量)を決め、明示するとなおわかりやすくなります。

③ 3S(清掃)

掃除をいつもびかぴかにしておくことです。掃除道具をキレイにすると、やる気ができます。

「古い」と「汚い」は、違います。また、1Sをしながら清掃すると、使う物・使わない物の分類もしやすくなりますし、機械類は使用後に掃除してから点検を行うと、無駄な修繕費が減ることにもつながります。

「カトリックがんばる！香取3代目」では、まず現状の農場の改善したい場所の写真を撮り、現状のマップを作りました。

次に、どこを、いつまでに、どのような方法でどのようにするかを決めてから実践しました。

さらに、改善前と後の写真、感想をまとめて定期的にメンバーの巡回と報告会を開催することで、お互いの取り組み内容が刺激となりました。

また、1カ所綺麗になると、他の場所が気になり、意欲的に綺麗にしようという気持ちが生まれ、「見た目も気分もすっきり」「定置・定量を行うことで、探す時間が削減できストレスも減った」「在庫管理がしかりできるため、無駄なものを買わずに済み、経費削減効果もあること」他、「なにより農場で働く人が気持ちよく仕事ができるようになった」など、良いことが沢山ありました。

また、白バラ認証の巡回でも、「カトリックがんばる！香取3代目」メンバーの牛舎は、得点の伸び率が他地区よりも高い傾向にあります。

大山乳業農協が推進する、白バラ認証制度の重要管理点の得点の中で、1番低いのが「処理室の3S」です。1戸では難しい3Sも、グループで取り組むことでお互いに刺激し合って続けることができます。

講師よりいただいた言葉に、「3S

は、経営改善のツール(手段)である」とありました。

皆様も、農場経営の中で、こうりたい、こんな牧場にしたいという目標はそれぞれお持ちだと思えます。

経営改善に向かうための手段はたくさんあります。経営改善というと仰々しく聞こえますが、3Sは大きなコストをかけなくても、どこの現場でもできる経営改善のツールだと思います。

皆様もそれぞれの目標に向けて、3Sに取り組んでみてはいかがでしょうか？



すべて取り出して、整頓して戻す



# 大山乳業農業協同組合 からののお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

## 理事会だより 平成30年11月20日理事会にて 次の議案が決議されました

### 【提出議案】

- 第1号議案 10月末経営検討について
- 第2号議案 指導部関連規程の改廃について
- 第3号議案 白バラ認証制度の設定について
- 第4号議案 人事関連規程の設定及び一部変更について
- 第5号議案 固定資産の取得について
- 第6号議案 役員定数について
- 第7号議案 鳥取県酪農民連合会の畜産・酪農政策要求に  
対する助成について
- 第8号議案 貸付牛の貸付承認について
- 第9号議案 年末一時金について

## 異動辞令等 下記の通り異動辞令が 発令されました。

### 異動辞令(平成30年12月1日付)

(所属及び役職)	(氏名)	(旧所属及び役職)
品質管理部 検査課 職員	下津 沙織	指導課 職員

## 総務部 鳥取県より 知事表彰を受けました。

鳥取県企業子宝率調査において、高い企業内子宝率と、子育て環境の改善の為の優秀な取り組みを実施しているとして、鳥取県より知事表彰を受けました。

今後も子育て世代の働きやすい環境整備などに積極的に取り組みます。



## 年末年始 直売所・工場見学営業日 お問い合わせ窓口営業日について

### カウイーのみるく館

12月31日(月)PMより休業(14:00まで営業)  
1月1日(火)・1月2日(水)休業  
1月3日(木)通常営業

### カウイーの白バラショップ(ネットショップ)

下記期間中は発送業務を休業致します。  
12月27日(木)～1月3日(木)  
※詳しくはカウイーの白バラショップHPをご覧ください

### 工場見学

12月27日(木)より1月6日(日)まで休業  
※1月7日(月)より再開致します(要予約)

### フリーダイヤル

12月29日(土)より1月3日(木)まで休業

### HPお問い合わせフォーム

12月29日(土)より1月3日(木)まで休業  
※お問い合わせの送信は可能です  
※期間中のお問い合わせについては1月4日(金)より順次  
対応致します

## 職員の方へ コンプライアンス・ 人権研修会について

下記の日程で全従業員を対象とした、平成30年度  
コンプライアンス研修会を開催します。

開催日:平成30年12月25日(火)～12月26日(水)  
場所:東側会議室、第1工場PR室東側・PR室西側

詳細を掲示板でご確認いただき、いずれかの日程にご参加  
ください。

## ホームページ からの声



■ 白バラ牛乳を飲んで育ちました。白  
バラ牛乳が1番美味しい牛乳だ  
と思っています。これからも、安心で美  
味しい白バラ牛乳、お菓子などを供  
給し続けて下さい。応援してい  
ます。(京都府)

■ 工場見学に行きました。  
職員の方も親切で、お土産も頂き大  
変満足しました。私は昔からパック  
入りのシュークリームが大好きで  
す。山陰以外にも白バラファンが多  
いので、これからも美味しい商品を  
届けてください！(鳥取県)

■ 今は岡山に住んでますが故郷は鳥  
取。学校給食で三角パックの白バラ  
牛乳を飲んで育ったので、今は懐か  
しみながら飲んでいきます。昔も今も  
美味しい牛乳をありがとうございます。  
(岡山県)

■ 牛乳の味が濃くて、とても美味しい  
です。地元の誇りです。これからも美  
味しい牛乳をよろしく願います。  
(鳥取県)

■ 鳥取市のホテルに宿泊した際、風呂  
上がりに飲んだ牛乳の味が忘れら  
れない。鳥取に行ったら、必ずまた飲  
みます。(神奈川県)

■ おいしい牛乳が飲めることが、大学  
を卒業して、鳥取に帰ってきてよ  
かったと思える理由の1つです。  
(鳥取県)

■ 牛乳(配達)を頼んでいます。主にコー  
ヒーに入れて飲んでいますが、とて  
も美味しいです！牛乳を美味しく頂  
いています。これからもよろしくお  
願います！(兵庫県)



# カウイーの EVERYDAY エブリディ!

さく:福井チーフ え:堀江あかね

## もうすぐクリスマス



### 編集後記

今年最後の酪農だよりでは一年間の話題を振り返りました。来年も楽しい話題をお届けできるよう編集部一同頑張ります!よいお年をお迎えください。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで。

[email@dainyu.or.jp]  
こちらのQRコードからもメールアドレスを取得できます▶



### Dainyu-Runners

#### 第30回巨木の郷二人三脚・三人四脚駅伝大会に参加しました

11月11日(日)琴浦町古布庄地区で行われた、第30回「巨木の郷 二人三脚・三人四脚駅伝大会」が開催されました。

秋晴れの駅伝日和の中、地区内外から13チームの参加があり、大山乳業農協のPRとして陸上部ランナーズが地区外の部に参加しました。

ランナーズは1区から3位と、良いペースで2区へタスキをつなぎ3区では更にペースを上げ2位へ、そのままアンカー三人四脚、6区へとタスキをつなぎました。前方20mには1位を走るチームが、選手は掛け声を合わせペースアップ。ゴール100m手前で追い抜きそのままゴール。20回大会から10年連続出場し、初の総合優勝を果たしました。

今年参加した新入職員からは、「沿道からのたくさんの応援が力となりました」とコメントもありました。

大会終了後、旧古布庄小学校にて表彰式が行われ、親睦会では古布庄地区で収穫された新米のおにぎり・豚汁を、更に今年はジビエ料理のいしし鍋も振舞っていただき、身も心も暖まりました。



古布庄地区の皆様、ありがとうございます。来年もまた参加させていただきます。

新CMは平成31年1月4日より順次放送開始です!



CM撮影の様子

大山乳業農協テレビCMリニューアルのお知らせ  
来年1月より、大山乳業農協の新しいテレビCMが放送開始となります!  
マスコットキャラクター「カウイー」が県内の保育園を訪問し、子どもたちと楽しく触れ合う姿を描いた心温まるCMに仕上がりました。  
放送をぜひ、お楽しみに!

今回は昭和47年10月の酪農だより第129号です。この号の表紙を飾ったのは、第4回鳥取県ホルスタイン共進会の1コマ。晴天に恵まれた2日間、各部門より29名と2組が優等賞に入賞された事を伝えています。



大山乳業「酪農だより」バックナンバーから当時の様子を覗いてみます

### あの日・あの時

# 酪農だより vol.683

White Rose 大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩  
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/平成30年12月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1  
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501  
http://www.dainyu.or.jp E-mail:email@dainyu.or.jp